

# 富山大学薬学部 学生後援会

## 平成 27 年度（第 18 回）総会報告書（抄）

平成 27 年 4 月 8 日（水）午後 1 時 30 分より  
富山大学杉谷キャンパス看護棟 2 階 22 講義室

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
  - 5-1. 平成 26 年度事業報告 (p. 2)
  - 5-2. 平成 26 年度会計報告 (p. 10)  
監査報告 (p. 13)
  - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
  - 5-4. 平成 27 年度事業予定（案）審議 (p. 15)
  - 5-5. 平成 27 年度予算（案）審議 (p. 18)
6. その他
  - 6-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 21)
  - 6-2. 学生の保証人（親権者等）への成績通知について (p. 22)
7. 閉会

総会終了後，御質問・御要望などに関して自由討論

はじめに、細谷薬学部長より薬学部の現状（薬剤師国家試験や就職状況など）に関する説明があった。その後、所用によりご欠席である安倍会長の代理として南部学内理事が議長となり、総会が進行された。

## 5. 議事

### 5-1. 平成 26 年度事業報告

#### 1. 平成 26 年度（第 17 回）総会の報告

平成 26 年 4 月 8 日（火）、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 26 年度総会を看護棟 2 階 22 講義室において開催しました。新会員（新入学生保護者）の他、薬学部教員も多数出席して行われました。中谷後援会会長のご挨拶に引き続いて、細谷薬学部長より薬学部の現状（薬剤師国家試験や就職状況など）や薬学部創立 120 周年記念事業に関するお話がありました。その後、中谷会長が議長に選出され審議に入り、平成 25 年度の事業報告と決算の承認、ついで 26 年度の正会員理事 33 名、教職員理事 9 名（TOEIC 講習補佐を含む）が承認されました。ついで、事業計画と予算の審議に入り、昨年度と同様に国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は約 300 万円、課外活動援助は 70 万円とする等の提案が承認されました。

その後、学内理事により、薬学科 5, 6 年生を対象とした国家試験対策支援のスケジュール、及び TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援についての説明がありました。

## 5-1. 平成 26 年度事業報告（続き）

学生後援会は、薬剤師国家試験対策や TOEIC 対策、卒業論文発表会を支援しております。

### 2. 平成 26 年度活動報告

#### 課外教育（国家試験対策）

薬学部 6 年制導入後の第四期生が 2014 年度に最終学年を迎え、2015 年 2 月 28 日、3 月 1 日に新卒者 50 名（および既卒者 24 名）が薬剤師国家試験を受験しました。先日、3 月 27 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です（前々回全国合格率：79.10 %、前回全国合格率：60.84 %、今回全国合格率：63.17 %、詳細は略）。

2014 年度に学生後援会として、薬学科 6 年次生向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール： 講義(44コマ)11日間、模擬試験(5回)8日間  
新卒者50名および既卒者2名の計52名が受講。

#### 費用（詳細は略）

学生後援会では新卒者を対象に国家試験対策費用の支援を行っています。平成 26 年度は 787,114 円（新卒者一人あたり約 15,743 円相当）を支援致しました。

5-1. 平成 26 年度事業報告 (続き)

2. 平成 26 年度活動報告 (続き)

課外教育 (TOEIC 支援)

A. 報告

1) TOEIC 講習会 (2014 年 11 月 1 日 (土))

企画概要：①創薬科学科学生の就職対策支援として TOEIC 講習会，学内 IP テストを企画・支援。

②薬学科学生も参加可能 (講習会 5000 円の参加費，学内 IP テストは実費で参加)。

2014 年の支援活動のポイント：

- ①入門&スコアアップコースの 2 クラス制での実施 (今年で 3 年目)。
- ②外部講師に TOEIC 対策の専門講義を依頼 (2 講師，イーオン社，名古屋)。
- ③ 1 クラス分の講師代と添削費を薬学部長裁量経費で対応 (継続)。
- ④実施状況：・参加 36 名 (申込 43 名，欠席 7 名)。昨年 35 名。横ばい。
  - ・薬学科からの参加 0 名。昨年 7 名。減少。
  - ・スコアアップコースが増：12 名 (申込 14 名，欠席 2 名)。昨年 7 名。

参加状況詳細：

|              |                |           |                     |     |           |
|--------------|----------------|-----------|---------------------|-----|-----------|
| [申込者数 (欠席数)] | (1) 入門コース：     | 創薬科学科 3 年 | 24 名 (欠 3)          | 4 年 | 5 名 (欠 2) |
|              |                | 薬学科 3 年   | 0 名                 | 4 年 | 0 名       |
|              | (2) スコアアップコース： | 創薬科学科 3 年 | 9 名 (欠 1)           | 4 年 | 5 名 (欠 1) |
|              |                | 薬学科 3 年   | 0 名                 | 4 年 | 0 名       |
| 合計           |                | 申込み       | 43 名 (創薬科学科学生 43 名) |     |           |
|              |                | 出席        | 36 名 (創薬科学科学生 36 名) |     |           |

経費：

① 1 クラス 1 人の講師分+(教材費+事後学習のメール添削費):学生後援会で負担

|                    |      | 単価      | 計               |
|--------------------|------|---------|-----------------|
| 講師(1名)             | 5 時間 | ¥21,600 | ¥108,000        |
| 教材費(テキスト&配布資料)     | 33 名 | ¥3,080  | ¥101,640        |
| 教材費(配布資料のみ)        | 9 名  | ¥1,030  | ¥9,270          |
| 添削費(入門クラス)         | 24 名 | ¥820    | ¥19,680         |
| 交通費(名古屋~富山)        | 2 回  | ¥8,320  | ¥16,640         |
|                    |      | 小計      | ¥255,230        |
| 合計 (含振り込み手数料:¥864) |      |         | <b>¥256,094</b> |

注 1:前年度は¥280,560。

注 2:教材費のうちテキスト分は前回での欠席者のものも利用し，今回 33 部のみ購入。

注 3:スコアアップ・クラスの講師代と交通費と添削費は薬学部(学部長裁量経費)で負担。

(学部負担額：¥134,480)(前年度は¥121,160)。

- ② 薬学科学生は 0 名。参加費 5000 円からの収入はなし。
- ③ ホテル代 2 名分を後援会で負担：¥6,500 × 2 名 = ¥13,000，振り込み手数料 ¥648，計 **¥13,648**

【講習会についての学生からの評価】 \*途中退出者を除く

入門コース (回答数 23)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

|                | 人数 | 0  | 0  | 0   | 7   | 16  |
|----------------|----|----|----|-----|-----|-----|
| レッスンに満足?       | %  | 0% | 0% | 0%  | 30% | 70% |
| レッスンの内容は理解できた? | 人数 | 0  | 0  | 1   | 8   | 14  |
|                | %  | 0% | 0% | 4%  | 35% | 61% |
| 身につけている実感はある?  | 人数 | 0  | 0  | 5   | 13  | 5   |
|                | %  | 0% | 0% | 22% | 57% | 22% |
| 教師に満足?         | 人数 | 0  | 0  | 0   | 4   | 19  |
|                | %  | 0% | 0% | 0%  | 17% | 83% |

- ・TOEIC について、どのように取り組みをすればいいのかわかりました。継続できるよう頑張ります。
- ・時間がないときの英語の勉強方法などとても有意義だった。
- ・参加して本当によかった。
- ・TOEIC 学習を本格的にスタートするよいきっかけになりました。

- ・楽しく学習法を学びました(同様の回答他に 2 件)。
- ・もう少し時間を短くしてほしい。
- ・おもしろかったです。リーディング・シャドーイングなど高校時代によくやっていた懐かしさを感じました。

スコアアップコース（回答数 10）

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

|                |    |    |    |    |     |      |
|----------------|----|----|----|----|-----|------|
| レッスンに満足？       | 人数 | 0  | 0  | 0  | 0   | 10   |
|                | %  | 0% | 0% | 0% | 0%  | 100% |
| レッスンの内容は理解できた？ | 人数 | 0  | 0  | 0  | 0   | 10   |
|                | %  | 0% | 0% | 0% | 0%  | 100% |
| 身につけている実感がある？  | 人数 | 0  | 0  | 0  | 6   | 4    |
|                | %  | 0% | 0% | 0% | 60% | 40%  |
| 教師に満足？         | 人数 | 0  | 0  | 0  | 0   | 10   |
|                | %  | 0% | 0% | 4% | 0%  | 100% |

- ・TOEIC の点数の取り方だけでなく、英語の勉強方法も教えてくれてすごく為になりました。
- ・徐々に英語をやりましたが楽しく飽きずに受講できました。
- ・とても分かりやすく丁寧で、楽しかった(同様の回答他に2件)。
- ・楽しく学びました。始めから参加したかったです。
- ・とてもためになる授業でした。
- ・普段、今回のような形で英語を教えて頂けるという機会はないので、とても勉強になりました。

2) TOEIC IPテスト（2014年1月10日（土）実施）

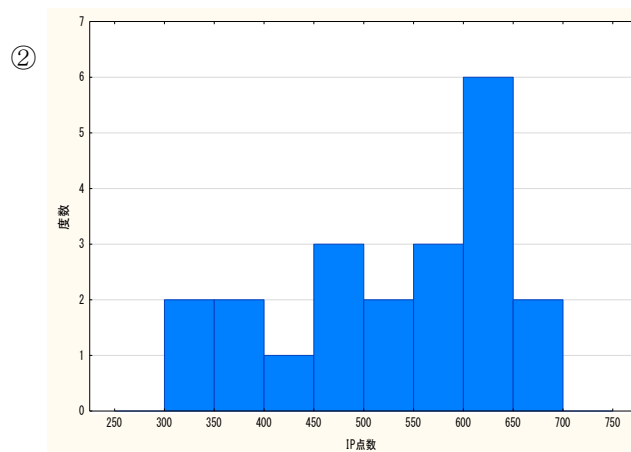
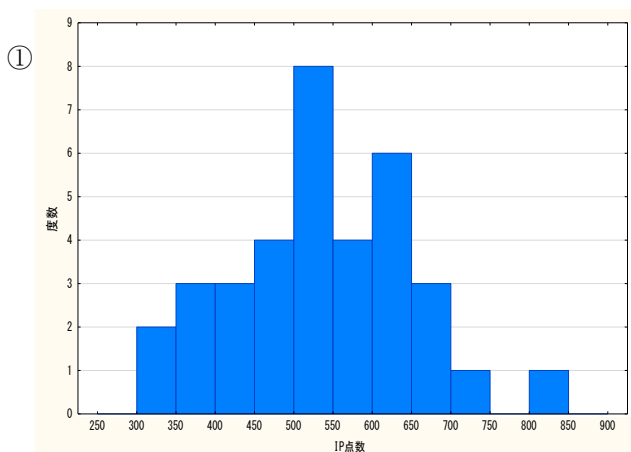
参加人数：35名（創薬科学科3年：21名，4年：9名，薬学科3年：1名，4年：1名，5年：2名）

後援会経費支援：30名（創薬科学科3年：21名，4年：9名）。（昨年度37名）

支援経費：受験料 ¥3,395 × 30名 = ¥101,850，振り込み手数料 ¥864，合計：**¥102,714**

IPテストの成績：

|      | ①受検者(薬学部全体) |       | ②講習会受講者 |       | 入門(今年度) |       | スコアUP(今年度) |       |
|------|-------------|-------|---------|-------|---------|-------|------------|-------|
|      | 人数          | 平均    | 人数      | 平均    | 人数      | 平均    | 人数         | 平均    |
| 受検結果 | 35名         | 539.点 | 21名     | 532.点 | 13名     | 489.点 | 8名         | 603.点 |



要点① 500点を越えられない層がある（講習会からIPテストまでの学習が不十分なケースも）。

要点② 受検者はほぼ横ばい（37→35名）。平均点は昨年の488.9点（受講者）から532.6点に。

（参考）過去の講習会受講者平均：2013年度488.9，2012年度493.8点，2012年度493.8点，2011年度511.2点。

B. まとめと対策

1. 状況

- 1) TOEIC 学習の風土醸成には一定の効果。
- 2) 受講率・受検率は横ばい。
- 3) 通信指導，IPテストの結果を見ると，学習不足の学生の層も目立つ。

2. 対策

長期的な学習プロセスを念頭に指導。

- ・最終的な獲得点数と学習法についてのアンケート。
- ・2年次から大学WEB上のTOEIC対策用プログラムやCALL教室の対策本の利用を指導。  
→ スコアアップコースに参加する学生の層の拡大をめざす。

## 5-1. 平成 26 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 26 年度活動報告（続き）

#### 課外教育（卒論発表会支援）

平成 27 年 2 月 20 日（金）に、平成 26 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習（事前学習）および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表・討論しました。例年通り、活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生（3 年次生を含む）により投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に 1 名、卒業論文優秀発表賞に 5 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 7 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

## 5-1. 平成 26 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 26 年度活動報告（続き）

#### 課外活動に対する補助金

平成 26 年度の標記補助の金額を以下のように決定し、支給しました（詳細は略）。

#### 奨学資金援助

平成 26 年度の現在における奨学資金貸与はありません。これまでに貸与した方は 22 名であり、貸与中の状況は、以下の通りです（詳細は略）。

#### 広報

本学薬学部のホームページに学生後援会用の欄が設けられています。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 26 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

#### 保護者懇談会

大学（杉谷キャンパス）祭開催期間に合わせ、平成 26 年 10 月 25 日（土）の午後 1 時半より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。約 110 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。最初に中谷会長から御挨拶を頂戴し、引き続き細谷学部長から薬学部の現状と就職状況についてのお話と、薬学部創立 120 周年記念事業についての報告がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。

また、懇談会終了後、薬学部施設の見学会を行いました。

#### 入会状況

平成 26 年度の新規加入者は 107 名（新入生薬学科 52 名，新入生創薬科学科 40 名，在學生薬学科 13 名，在學生創薬科学科 2 名）（11 月 30 日現在）でした。その後も，在學生薬学科 3 名，在學生創薬科学科 6 名の入会（3 月 3 日現在）を受け付けました。未入会の方には，本会の趣旨をお伝えし，ご入会をお願いしております。

**以上の平成 26 年度事業について，各担当理事から報告が行われた。**

## 5-2. 平成 26 年度会計報告

以下、本会計および緊急対策会計，奨学資金会計の収支決算および監査の報告があった。

平成 26 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 26 年 3 月 1 日 ～ 平成 27 年 2 月 28 日)

### 収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振込口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告 (財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告 (積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>



### 5-3. 新役員の選出

#### 平成 27 年度役員を選出

役員名簿

#### 正会員理事

会 長： 安倍 克也 (薬学科)  
他 副会長：1名、監事：1名、理事 29名

#### 学内理事

|             |       |         |
|-------------|-------|---------|
| 副会長：        | 細谷 健一 | (薬学部長)  |
| 庶 務：        | 廣瀬 豊  | (遺伝情報)  |
| 入会・人事：      | 佐久間 勉 | (がん生物)  |
| 課外教育        |       |         |
| 国家試験：       | 和田 努  | (病態制御)  |
| TOEIC：      | 片桐 達雄 | (生物)    |
| TOEIC 講習補佐： | 名執 基樹 | (独語)    |
| 課外活動・奨学資金：  | 新田 淳美 | (薬物治療)  |
| 会 計：        | 加藤 敦  | (病院薬剤部) |
| 広 報：        | 田浦 太志 | (薬用生物)  |
| 監 事：        | 田浦 太志 | (薬用生物)  |

**会長，副会長および学内外の新理事が承認された。**

#### 5-4. 平成 27 年度事業予定 (案) 審議

##### 平成 27 年度事業計画案

#### 1. 課外教育援助 [国家試験対策支援 (薬学科 6 年生対象)]

平成 27 年度は、新カリキュラム導入後の第 5 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

|          |          |                        |
|----------|----------|------------------------|
| ・平成 27 年 | 5 月頃     | 国家試験についてのガイダンス         |
| ・        | 5 月末頃    | セレクト模試 I (薬学ゼミナール)     |
| ・        | 7 月末頃    | セレクト模試 II (薬学ゼミナール)    |
| ・        | 9 月頃     | 全国統一模擬試験 I (薬学ゼミナール)   |
| ・        | 11 月頃    | 予備校によるガイダンス            |
| ・        | 11~12 月頃 | 予備校による講習会              |
| ・        | 12 月中旬頃  | 全国統一模擬試験 II (薬学ゼミナール)  |
| ・平成 28 年 | 1 月頃     | 模擬試験 (薬学ゼミナール以外)       |
| ・        | 2 月上旬頃   | 全国統一模擬試験 III (薬学ゼミナール) |
| ・        | 2 月下旬頃   | 第 101 回薬剤師国家試験         |

平成26年度の第100回国家試験は、前年度と同等に難易度の高い試験でした。基礎力、考える力、医療現場での実践力を問う問題が多く、昨年同様に問題解決能力、臨床能力をもつ6年制薬学部生に対する期待を感じさせる出題傾向でした。必項問題は図やグラフの読解、計算問題、基礎学力としての物理・化学・生物の問題が多く出題されました。また理論問題では物理、化学、病態・治療の難易度が高く、化学は構造式に関する問題、治療は詳細な症候を問う出題があり、また薬理を中心に、医療現場で頻用されている薬物に関する出題が増加しております。また実践問題・実務問題におきましても、副作用から症候を判断するなど、昨年度以上に実践的な出題が増加し、問題解決能力が問われました。以上より、日常の臨床実務実習における学習が重要であると考えられます。今後もこれらの傾向は続くと予想され、付け焼き刃の表面的な理解では対応が難しいことから、学生には早期から現状を伝え、コツコツと地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。

平成27年度の国家試験対策は、少しスケジュールを早めて行った平成26年度の対策（講習会および模擬試験）を踏襲し、講習会では模試の成績に応じ、学生の弱点分野に対する追加講義を開催するなどの支援を行う予定です。また、試験情報も随時、受験生へ伝えていく予定です。

## 5-4. 平成 27 年度事業予定（案）審議（続き）

### 平成 27 年度事業計画案（続き）

#### 1. 課外教育援助[TOEIC 支援]

平成 27 年度では、以下の形で TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

##### A. 概要

これまでの以下の枠組みを踏襲

1. 創薬科学科の学生が支援対象（講習受講費と 1 回分の教科書代，キャンパステスト 1 回分の支援）。それ以外の薬系学生（3 年次以降の学部学生，大学院生）が講習会に参加を希望する場合には，参加費として 5000 円を求める（教科書代込み）（キャンパステストは自己負担での参加が可能）。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援する（創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む。ただし，2 度目の場合は，教科書代は個人負担となる）。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え，創薬科学科 3 年次ないし 4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする（いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象）。
4. オリエンテーション等で，3 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し，英語学習意識の浸透をはかる。

##### B. 留意点（★印は特に今年度に留意して取り組むもの）

###### 1. TOEIC 講習会

・2 クラス体制で実施。

(1) 入門コース：リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

(2) スコアアップコース：リーディング対策なども加え，TOEIC700 点台を目指す学習法を学ぶ。

・1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼（学部長裁量経費等）。

###### 2. IP テスト

・講習会 2 ヶ月後の IP テストの創薬科学科学生の受検経費（1 回分）を支援。

###### 3. その他

・4 月の学年別オリエンテーション，TOEIC 講習会内（講師に依頼），講座への告知。

・2 年次学生に対しても 4 月の学年別オリエンテーションで，TOEIC 対策を学生生活に組み込むよう指導。特に，以下の自己学習環境について説明：

・大学 WEB 上の「TOEIC 演習 2000」の利用。

・CALL 教室の対策ライブラリの活用，など。 (★)

・自己学習環境の充実化：CALL 教室，図書館の対策図書を充実化させる。(★)  
最終的な獲得点数と学習法についてのアンケートを実施。(★)

#### 5-4. 平成 27 年度事業予定（案）審議（続き）

#### 平成 27 年度事業計画案（続き）

##### 2. 課外活動援助

例年通り，各課外活動団体からの申請があれば，薬学部学生の所属数に基づき，既定の範囲内で援助を行う。

##### 3. 奨学資金援助

未返還者への督促を行うとともに，貸与希望者に返還計画の遵守を徹底する。

##### 4. 広報活動

薬学部ホームページを用いて，後援会活動の報告等を活発に行う。

##### 5. 保護者懇談会の開催

10月24日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお願いします。

**以上，平成 27 年度事業計画が説明され，承認された。**

5-5. 平成 27 年度予算（案）審議

表 4-1. 学生後援会本会計予算（案）

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振込口座会計予算（案）

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（積立の部）（案）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算（案）

<略>

以上，予算案が承認された。

## 6. その他

### 6-1. 学部生、大学院生の研究活動

学会での受賞等

- ・ 優秀発表賞（日本薬学会第 134 年会 平成 26 年 3 月）  
中尾 裕之（特別研究学生（修士 2 年）；生体界面化学研究室）
- ・ 優秀発表賞（日本薬学会第 134 年会 平成 26 年 3 月）  
杉浦 太一（創薬科学科 4 年；生体界面化学研究室）
- ・ The 7th IAF Award (The 7th International Aldosterone Forum in Japan 平成 26 年 5 月)  
中村 勇斗（博士前期課程 2 年；病態制御薬理学研究室）
- ・ 学会奨励賞（第 31 回和漢医薬学学術大会 平成 26 年 8 月）  
北村 亮（博士後期課程修了；応用薬理学研究室）
- ・ 優秀発表賞（第 31 回和漢医薬学学術大会 平成 26 年 8 月）  
久志田 郁（薬学科 5 年；漢方診断学分野）
- ・ 優秀演題賞（第 31 回和漢医薬学学術大会 平成 26 年 8 月）  
Besse Hardianti（博士前期課程 2 年；病態生化学分野）
- ・ ポスター賞（第 46 回構造有機化学若手の会 平成 26 年 8 月）  
廣兼 秀（創薬科学科 4 年；薬化学研究室）
- ・ 優秀講演賞（平成 26 年度有機合成化学北陸セミナー 平成 26 年 10 月）  
林 滉一朗（博士前期課程 2 年；薬化学研究室）
- ・ JSSX Travel Grant 2014（平成 26 年 10 月）  
手賀 悠真（博士後期課程 2 年；薬剤学研究室）
- ・ JSSX Travel Grant 2014（平成 26 年 10 月）  
臼井 拓也（博士後期課程 1 年；薬剤学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
小原 直人（博士前期課程 1 年；がん細胞生物学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
杉浦 太一（博士前期課程 1 年；生体界面化学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
中林 雅裕（薬学科 6 年；生体認識化学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
小野木 康弘（博士後期課程 2 年；病態制御薬理学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
陣内 比加利（博士前期課程 2 年；分子合成化学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
松本 隼（博士前期課程 2 年；分子細胞機能学研究室）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 126 回例会 平成 26 年 11 月）  
富井 寿詠（博士前期課程 2 年；薬物生理学研究室）
- ・ 最優秀演題賞（第 16 回日本神経消化器病学会 平成 26 年 11 月）  
八代 智江（薬学科 5 年；消化管生理学分野）

## 6-2. 学生の保証人（親権者等）への成績通知について（医薬系学務課より）

富山大学では、平成 27 年度から学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点から、必要に応じて学生の保証人（親権者等）へ成績通知書を送付することとなりました。薬学部では、2 年次以降の毎年 5 月に成績通知書を保証人に郵送する予定です。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付いたします。留年生には、留年の通知、不足単位の内訳、担当教員の所見、相談員からのアドバイスなども添付し、今後の学生生活の励みとなればと考えております。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じさせていただきます。

**総会終了後に質疑応答を行った。成績通知書の内容や送付について、また留年生に関する質問があり、細谷学部長、南部准教授からご回答があった。その後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。**